

ヒラキ通販の認知度アップへ
テレビCMを実施

エリア限定でテレビCMを実施しました。ネット上でも期間限定で公開しております。当社の通販ショッピングサイトからご覧頂けます。

ヒラキ

検索

平成26年秋冬 おすすめ新商品



レディースカジュアル ¥680+税
フィット感を追求したぴったりのパンプスに新カラー登場



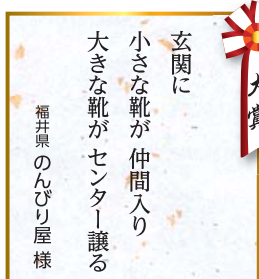
ソフトボアブーツ ¥780+税
しなやかソフトソールで歩きやすい、ファミリー展開商品



カジュアルモカシン ¥1,580+税
こだわりのつま先手縫いモカシン、内側全面ボアタイプ



インヒールレディースブーツ ¥2,900+税
人気のインヒールタイプ! 脚長ボアブーツ登場

靴への感謝の気持ちを短冊に
ヒラキ靴短冊大賞作品発表!

今年も全国からたくさんのお客様にご応募いただき、誠にありがとうございました。厳正なる審査の結果、二作品を大賞として選出させていただきました。

当社ホームページにて、大賞含む入賞作品百十一点を公開しております。

これからもヒラキは皆様それぞれの靴への想いを大切に、靴作りを続けてまいります。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	
	期末配当	毎年3月31日	
	中間配当	毎年9月30日	
	株主優待	毎年3月31日	
単元株式数	100株		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063		
	東京都杉並区和泉二丁目8番4号		
	三井住友信託銀行株式会社証券代行部		
	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)		

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)で行っております。

- 住所変更、単元未満株式買取のお申出について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主優待特典のお知らせ

平成26年3月31日の当社株主名簿に記載された単元株式数(100株)以上の株式を保有する株主様に対し、当社お買物券(2,000円相当)を平成26年7月に贈呈いたしました。
※当社お買物券は当社通信販売、また兵庫県にあります当社店舗にて使用できます。

ヒラキのホームページでは、タイムリーなプレスリリースやIRニュースほか、会社情報など、株主・投資家の皆様に役立つ情報を定期的に更新、掲載しております。また、HIRAKI Shoppingサイトへもリンクしておりますので、どうぞお気軽にアクセスしてみてください。


<http://company.hiraki.co.jp/>

ヒラキ株式会社

[本誌に関するお問い合わせ先:総務部]
〒651-2494 神戸市西区岩岡町野中宇福吉556
TEL:078-967-4601 FAX:078-967-4603

当株主通信は環境に配慮した再生紙、及びインクを使用しております。また、読みやすいUDフォントを使用しております。



「驚き」「楽しさ」「満足感」をめざして。

好きな靴を
好きなだけ

ファミリーでスタイリッシュに! 履きごこちと素材にこだわった新商品
ミッドカットスニーカー ¥780+税

第38期
中間期

HIRAKI COMPANY REPORT

株主通信

平成26年4月1日～平成26年9月30日

ヒラキ株式会社

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第38期の上半期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）が終了しましたので、決算ならびに事業の概況についてご報告申し上げます。

今後ともご期待にお応えできるよう、当社の基本方針である「長期安定的な企業価値の向上」を目指してまいりますので、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月

代表取締役 社長執行役員
向畑 達也

連結（第2四半期累計）

売上高	8,644百万円 （前年同四半期比10.2%減）
営業利益	167百万円 （前年同四半期比29.3%減）
経常利益	80百万円 （前年同四半期比69.6%減）
四半期純利益	40百万円 （前年同四半期比74.7%減）
1株当たり 四半期純利益	8円36銭 （前年同四半期比24円61銭減）
中間配当	10円 （前年中間配当10円）

事業の概況

平成26年度上半期におけるディスカウンターとしての当社グループを取り巻く経済環境は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動に加え、一般消費者の日常消費における節約志向が根強く、厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、強みである「靴」を中心とした「商品力の強化」、そして「商品力」を売上へとつなげる「現場力の強化」に継続して取り組みました。

当社開発商品につきましては、秋冬の装いの新色を追加した「780円ソフトポアブーツ」を昨年より値下げ価格にて投入したほか、スエード調素材を新たにラインアップに加えた『680円レディースカジュアルシューズ』を投入いたしました。さらに、流行のインヒールシューズをポアブーツからカジュアル、スニーカーまで幅広く低価格にて展開し、いずれも価格を抑えながらもそれ以上の満足感をお届けする商品を投入してまいりました。

また、現場力の強化として、通信販売事業におきましては、無料設置カタログの配布拡大、WEBサイト強化などの施策を中心に、ヒラキ通販の認知度向上を図りました。

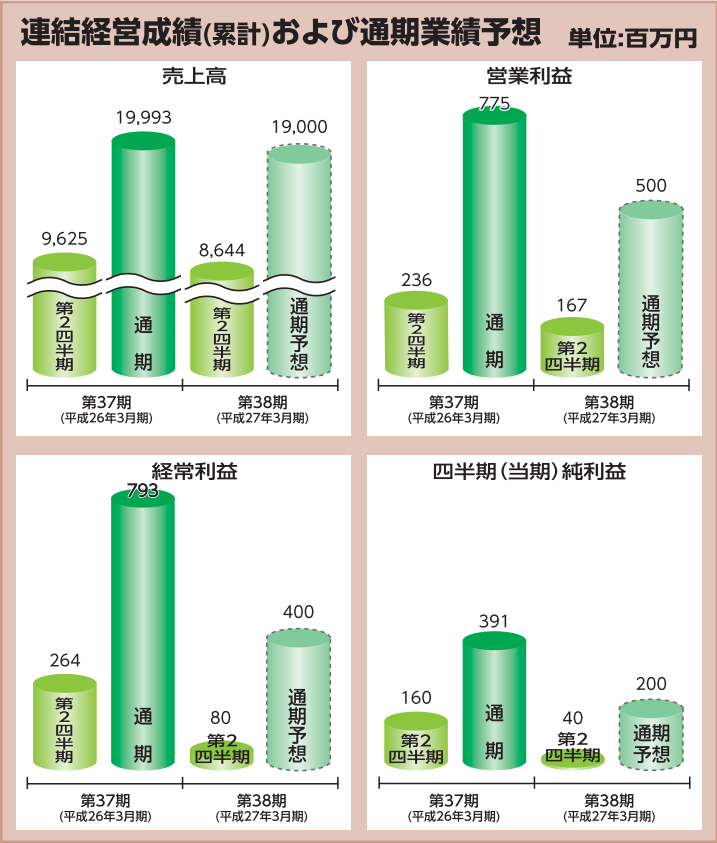
ディスカウント事業におきましては、靴を中心としたバラエティ・ディスカウント・ストアとしての差別化に取り組み、圧倒的な安さを実現した開発商品の拡販、そして『特価大商談会』の定期開催による特価商材の安定確保により、収益力を強化しました。

また、岩岡本店の大改装を実施し、集客力の向上に取り組んでまいりました。

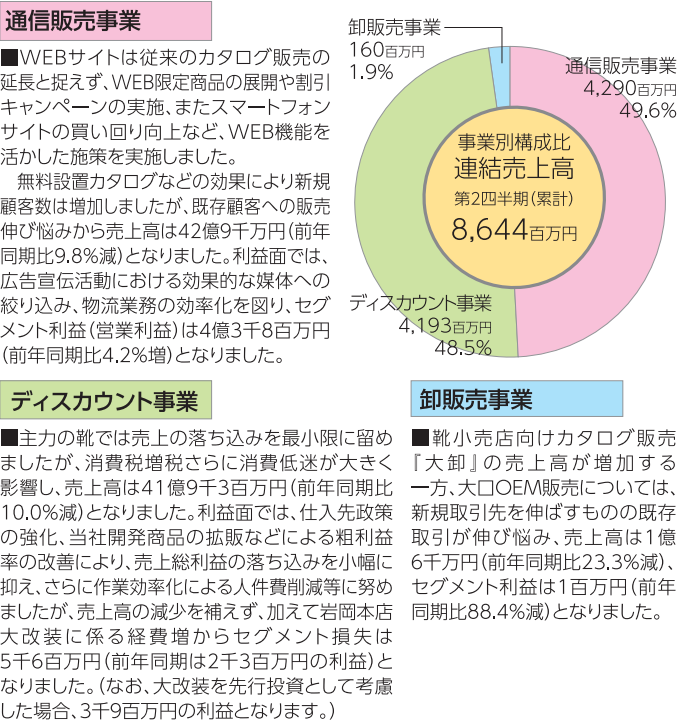
卸販売事業におきましては、靴小売店向けカタログ『大卸』やOEMによる大口先への卸販売を収益の柱として、引き続き取り組んでまいりました。

しかしながら、主に消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動、さらには地方を中心とした個人消費の低迷が影響し、当上半期の連結売上高は86億4千4百万円となりました。

利益面につきましては、通信販売事業を中心に更なるローコスト運営、ディスカウント事業における粗利益率の改善を図りましたが、売上高の減少を補うまでには至らず、営業利益は1億6千7百万円となりました。また、経常利益は為替差損益、デリバティブ評価損益などの影響から8千万円、四半期純利益は4千万円となりました。



事業のセグメント別概況



中期事業戦略

『靴』を中核とした自社開発商品を収益の源泉と認識し、通販・店舗・卸販売が一体となって相乗効果を発揮します

通信販売事業

■市場ニーズを迅速に取り込む商品開発体制（企画開発から販売まで）の推進

■顧客基盤の拡大に向けた取り組みとWEB戦略の強化

ディスカウント事業

■「日本一の靴売場」の実現、自社企画開発商品の販売拡大等による他店との差別化

■バラエティ豊かな特価商品仕入れ強化、経費率の低減等による「安さ」の実現

卸販売事業

■OEM取引を主体とした高収益モデルの構築

■靴小売店向け取引『大卸』の積極展開とWEB運営体制の構築

